

伊藤病院だより
WINTER

Voice

2019年12月1日発行 第68号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



スクランブル交差点

医療の国際化に向けて

◆第42回ヨーロッパ甲状腺学会参加報告

伊藤病院 外科医長 松津賢一

2019年9月7日～10日にハンガリーの首都ブダペストにおいて、第42回ヨーロッパ甲状腺学会が開催されました。本学会はヨーロッパだけでなく、アジアやアメリカなど、広く世界中から甲状腺専門医が集まり、甲状腺に関する様々な研究を発表して意見交換する場となっています。当院からも例年研究発表を行っており、今年は杉野副院長、吉原内科医長、松津の3名で参加いたしました。

杉野副院長は小児若年甲状腺がんにおける手術術式について、松津は甲状腺乳頭がん術後の再発腫瘍マーカーについて、吉原内科医長は妊娠中の女性における甲状腺機能についての発表をいたしました。いずれも日常の診療において極めて重要な課題であり、各国の専門医から熱心な質問を受けました。また、他国の医師の発表から甲状腺診療に役立つ新たな知識や課題を得ることができました。

学会参加中は休診となり、多くの患者様にご迷惑をお掛けしましたが、こうした細かな知識のアップデートによって、最新最良の診療を提供できるように努めていることをご理解いただければ幸いです。



◆第10回国際観光医療学会学術集会在開催されました

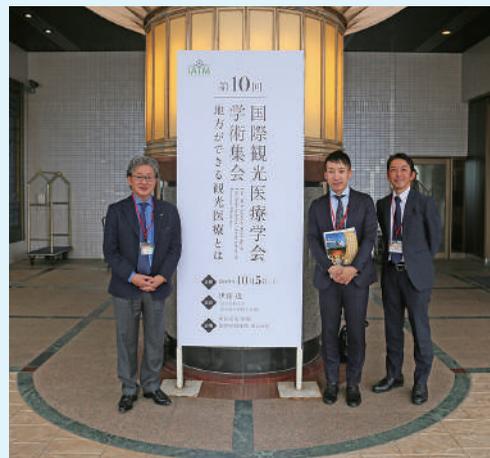
伊藤病院 国際医療室主任 鄭君

去る10月5日、10回目となる国際観光医療学会学術集会在金沢で開催されました。

金沢医科大学が主催となった今回の学会は「地方ができる観光医療とは」をメインテーマに、医療機関はもちろん、厚生労働省や経済産業省など医療観光に取り組む官公庁からも参加され、例年と同様に伊藤院長が特別講演の座長を務めました。

当院からは「甲状腺疾患専門病院におけるメディカルツーリズム第9報～院内資料、案内表示の多言語化等の整備への取り組み～」について発表しました。近年、ビザ緩和の追い風を受けて、検査や治療を求めて訪日する外国人が増加の一途を辿っています。当院も例外ではなく、手術などを求めて受診する海外の患者様が増加しているところです。そこで、海外の患者様も院内で滞りなく移動できるよう日本語の他、英語、中国語、韓国語など多言語による院内表示、そして、災害時のスムーズな誘導のために4ヶ国語を用いたアナウンス放送、更には疾患に関するパンフレットも6ヶ国語で翻訳し提供していることなどについて発表いたしました。

これからも、培ってきた外国人患者様への対応ノウハウを活かしながら、当院の甲状腺疾患専門診療をより多くの海外の患者様に提供できるよう努めてまいります。



医療の国際化に向けて

◆中国福建省第二人民病院の医師が見学されました

伊藤病院 国際医療室主任 鄭君

11月5日より7日にかけて、中国福建省第二人民病院甲状腺外科主任である王鴻程(ワンホンチョン)医師が見学に来られました。王先生はアメリカのマサチューセッツ総合病院などで研修された、中国の甲状腺分野における先駆者でもあり、甲状腺の診断・治療に数多くの経験もお持ちです。



主な見学目的は、甲状腺疾患専門病院である当院の受付をしてから会計までの独自のシステムプロセスでしたが、この

ほかエコー下穿刺吸引細胞診及び染色方法、手術手技などの内容について特に深い関心を持たれました。例えば同じエコー下穿刺吸引細胞診であっても、国によって使う機材や方法が異なるため、検査終了後、当院で使用している穿刺吸引針や染色方法について質疑を交わされました。見学の日程は短いものの、王先生が勤めている病院と当院の検査や治療方法などに関する相違点を交えて意見を交換しました。

このような国際交流を通じて、より多くの海外の医師たちに当院の専門医療を紹介できるように努めてまいりたいと思います。

学会活動

ピックアップ 第52回日本内分泌外科学会学術大会に参加しました

伊藤病院 外科医長 宇留野隆

2019年10月17日、18日に東京ドームホテルにて第52回日本内分泌外科学会学術大会および第6回甲状腺副甲状腺術中神経モニタリング研究会が開催されました。日本甲状腺外科学会と日本内分泌外科学会の発展的統合により設立された一般社団法人日本内分泌外科学会としての最初の秋の学会でした。

今回は「基礎から臨床へのメッセージ」をテーマに、7つのシンポジウム、4つの特別企画、6つの講演、13のセミナーと盛りだくさんで、日本甲状腺病理学会、日本甲状腺学会、日本乳癌学会、日本乳腺甲状腺超音波医学会との合同セッションなども企画されました。当院からも、多数の発表や座長を務めましたが、特に大桑恵子外科医長、友田智哲外科医師の両者については、甲状腺分化がんに対する放射性内用療法に関する発表が一般演題の厳選演題に選ばれました。

患者様には学会期間中、担当医の休診等で大変御迷惑をお掛けしました。学会で得た新たな知識や経験を更に当院の甲状腺診療に役立てていくとともに、当院での診療経験から見出された新たな知見を発信し、日本の甲状腺医療のさらなる発展に尽力してまいります。



発表

大桑恵子	「放射性ヨウ素内用療法(RAI)を施行しRAI 集積ある甲状腺分化癌遠隔転移症例における予後予測因子検討」
友田智哲	「放射性ヨウ素内用療法30mCi のadjuvant therapyとしての有用性について」
山崎春彦	「甲状腺癌の分子標的薬治療におけるサルコペニアの影響」

特別講演

松津賢一	「リンパ節再発に対する手術療法について」
吉原 愛	「甲状腺機能亢進症 パセドウ病での手術の適応と手術へ向けての用意」
加藤良平	「甲状腺癌の遺伝子背景(Genetic landscape) : 遺伝子異常からの組織分類の提唱」

学会活動

ピックアップ 第62回日本甲状腺学会学術集会に参加しました

伊藤病院 内科医長 渡邊奈津子

第62回日本甲状腺学会学術集会が2019年10月10日(木)から12日(土)までの3日間、群馬県前橋市の昌賢学園まえばしホールで開催されました。

“すべては甲状腺患者さんのために”とのテーマで、“患者様中心の医療”を振り返り、医学研究を将来の臨床応用、つまり患者様のために繋げたいという思いが込められているということでした。このテーマにそって医療安全の他、甲状腺がんの遺伝子診断について、米国で実際に患者様にどのように用いられているか、甲状腺がんにおける「ゲノム医療」の最前線についての講演がなされました。

伊藤院長が内分泌外科学会との共同開催シンポジウムにて、当院における外科治療の推移や甲状腺外科と内科の連携について講演し、吉村内科部長は三宅賞受賞講演および教育講演(専門医教育セミナー)にて講演をいたしました。演題発表では、伊藤病院から13題の演題があり、4題が高得点演題として選出されました。いずれの発表でも他施設

の先生方と活発な議論をもつことができました。

本学会のテーマ“すべては甲状腺患者さんのために”は当院の理念“甲状腺を病む方々のために”に偶然にも一致するものでした。日本甲状腺学会の先生方と想いをともにし、得られた知見を深めつつ、よりよい甲状腺診療とは何か、日々考えてまいりたいと思います。

特別講演

伊藤公一	手術適応甲状腺疾患に対する円滑な診療連携～実地医家から甲状腺内科医、そして甲状腺外科医へ～
吉村 弘	バセドウ病治療ガイドライン2019
吉村 弘	High volume center の使命

演題発表

北川 亘	濾胞型乳頭癌とNIFTPの超音波所見について
渡邊奈津子	バセドウ病眼症の頻度とリスク因子—未治療バセドウ病1702例を対象とした後方視的検討—
吉原 愛	バセドウ病合併妊婦の妊娠初期の治療薬と児の形態異常との関連(産後1年調査)
川口明子	甲状腺機能正常者におけるTSH レセプター (TRAb) 陽性に関する検討
國井 葉	北海道昆布産地における住民のヨウ素摂取と甲状腺機能との関連について
杉澤千穂	TSH単独欠損症の分子基盤：小児患者13例の系統的遺伝子解析と文献レビュー
鈴木章史	気管浸潤を伴う甲状腺未分化癌に対するLenvatinib治療経験
鈴木菜美	妊娠後期にTRAb上昇を来した甲状腺機能低下症母体より出生した新生児バセドウ病の1例
鈴木美穂	橋本病でのTgAbとTPOAbのIgG分画の検討
蛭間真梨乃	抗甲状腺薬によりANCA 関連血管炎性中耳炎を発症した1例
星山綾子	甲状腺機能性結節の診断におけるSPECT/CT の有用性についての検討
松本雅子	バセドウ病内服加療後の甲状腺病理組織変化について
盛崎瑞葉	バセドウ病に伴う周期性四肢麻痺(TPP)の臨床的特徴と治療法の選択



学会活動

ピックアップ 吉村内科部長が日本甲状腺学会「三宅賞」を受賞しました
～三宅賞受賞講演「High Volume Centerの使命」～

伊藤病院 内科医長 渡邊奈津子

2019年 第39回 三宅賞を当院内科部長の吉村弘先生が受賞いたしました。

三宅賞は甲状腺学の分野における研究および後進の育成に貢献した人に贈られる大変名誉ある賞です。



吉村内科部長は講演 受賞した吉村部長(左)。今学術集会の山田会長とともに

の中で、「甲状腺を病む方々のために」という当院の理念のもと、これまで行ってきた取り組みについて紹介しました。それは、正確な診断と適切な治療、多数例を用いて様々な検査データの基準範囲(いわゆる正常値)の設定を行うこと、甲状腺疾患の病態について多数例を用いて明らかにすること、そして抗甲状腺薬の重篤な副作用を明らかにして、可能な限り安全な治療方法を確立するということです。当院からの研究報告は、国内外のバセドウ病や妊娠、甲状腺結節のガイドラインに重要なエビデンスを示す論文として多数引用されており大きな研究成果をあげております。

また、吉村部長は伊藤病院で常勤医師として勤務した内科医師に対し、甲状腺疾患の診療だけでなく、臨床研究の手法について指導しておりました。これまでに41人の内科医師が指導を仰いでおります。この中から多くの学会賞の受賞者や学会の評議員などが選出されており、これからの甲状腺学・甲状腺診療を担う沢山の後進の育成に貢献してまいりました。

受賞講演の演題名は「High Volume Centerの使命」とあり、正に吉村部長が果たしてきたことです。引き続き伊藤病院全体で「甲状腺を病む方々のために」High Volume Centerとしての使命感をもって取り組んで行かなければいけない、そのようなメッセージを感じました。

当院で職業奉仕見学会を開催しました

10月9日に東京ロータリークラブの職業奉仕見学会が当院で開催され、40名ほどの方々が参加されました。



見学会では、はじめに伊藤院長から日本の医師育成や医療制度とともに、当院の概要とご提供している専門診療についてご紹介。続いて看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、無料通訳を提供している国際医療室から病院におけるそれぞれの役割と業務についてご説明しました。そして講演後には、採血後の血液を分析する機器や放射線治療によって発生する排水・排気の浄化装置など、患者様の目には触れないながらも日々の診療を支えているバックヤードをご覧いただき、医療に関する理解を深めていただきました。

伊藤院長はこの見学会を担当する職業奉仕委員会の委員長を務めております。今号でもご紹介しております高校生インターンシップを積極的に受け入れるなど、これからも社会貢献にも取り組んでまいります。

年末年始 休診のご案内

年末年始は、毎年12月29日午後から1月4日まで休診とさせていただきますが、今回は日曜日と重なるため、2019年12月28日(土)午後～2020年1月5日(日)まで休診とさせていただきます。ご不便をお掛けいたしますが、なにとぞご容赦くださいますようお願い申し上げます。

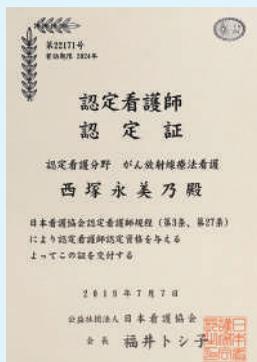
2019年12月					2020年1月					
27日	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日	6日
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
通常診療	午前診療※ 午後休診	休診 ※12月28日(土)は 午前11:30で 受付を終了いたします。							通常診療	

がん放射線療法看護認定看護師を取得しました

伊藤病院 病棟看護師 西塚永美乃

放射線治療は手術や化学療法と並ぶがんの3大治療のひとつであり、欧米においてはがんと診断された患者様の50%超が受けるという報告がされています。本邦ではまだ3割程度に留まっていますが、高齢社会が進むにつれ今後ますます普及が期待される治療です。

現在、323名のがん放射線療法認定看護師が全国で活躍しており、放射線治療を受ける患者様の心身のケアや、生活面におけるサポートを担っています。当院では、体外からの放射線治療のほか、放射性ヨウ素内用療法など甲状腺独自の特殊な治療を行っており、不安を抱く方も多いと思います。安心して治療に臨んでいただけるよう、お手伝いをさせていただきたいと思いますので、お気軽にご相談ください。



がん相談支援センター相談員基礎研修を修了しました

伊藤病院 医療相談室 本田直子

1981年以降、がんは日本人の死亡原因の第1位を占め、2人に1人はがんになる時代です。国の対策として「がん対策基本法」に基づき「がん対策推進基本計画」が策定され、相談支援と情報提供の充実が目標として掲げられました。

がん専門相談員は、がんと診断された患者様や家族等の相談者に、科学的根拠と相談員の実践に基づく信頼できる情報提供を行うことによって、その人らしい生活や治療選択が出来るための支援を行う役割を担っています。今回の基礎研修を受講し、がんの病態や治療方法、相談員としての姿勢などを基礎から学ぶことが出来ました。当院での急ながんの告知や手術の決断、入院待機期間中に抱く迷いなど、様々な不安を抱える患者様の支援が少しでも出来たらと思います。



「テノールの世界～輝ける歌声～」に協賛しました

当院は、音楽・文化活動の支援を目的に、2019年7月30日にサントリーホールで開催された「テノールの世界～輝ける歌声～」に協賛しました。

日本を代表するテノール歌手である、ジョン・健・ヌッツォさん、樋口達哉さん、笛田博昭さん3名が出演され、東京フィルハーモニーの演奏にのせて日本の童謡からオペラ・アリア、映画のテーマ曲など幅広い曲目で豊かな歌声を披露されました。



「表参道日記～その三～」発行のお知らせ

伊藤公一院長が執筆している月刊誌『美楽』の連載をまとめた『表参道日記～その三～』が発行されました。『表参道日記～その一～』『表参道日記～その二～』に続く第三弾となる本書には、2016年2月から2019年7月までの掲載回が収録されています。

10年にわたって続いている本連載は、その時々世相や社会現象に対して、院長自身の所感を綴った随筆です。当院1階の売店でも販売しておりますので、よろしければぜひお手に取ってご覧ください。



表参道日記～その三～

発行 幻冬舎メディアコンサルティング
定価 1,000円+税
全国の書店のほか、当院売店でも販売しております。

甲状腺ホルモン不応症について

伊藤病院 内科 杉澤千穂



甲状腺ホルモン不応症とは

甲状腺ホルモン不応症は、生まれつきの体質で、甲状腺ホルモン受容体の形が健常の人と異なる病気です。そのため、血液の中に甲状腺ホルモンがたくさんあるにも関わらず、相応の効果が出なくなります。

甲状腺ホルモンの調節について

甲状腺ホルモンは、甲状腺から分泌されます。甲状腺から分泌された甲状腺ホルモンは、血液に乗って、体中の臓器に運ばれます。体中の各臓器は、「甲状腺ホルモン受容体」と呼ばれる甲状腺ホルモンの受け取り口で甲状腺ホルモンを受け取ります。甲状腺ホルモンは体を元気にするホルモンです。甲状腺ホルモンを受け取った臓器は活性化し、体の代謝が上がります。甲状腺ホルモンの流通量を制御しているのは、頭の中にある下垂体という部位です。下垂体は、甲状腺に対して、甲状腺ホルモンを作る指令である甲状腺刺激ホルモンを出しています。この下垂体からの指令を受けて、甲状腺は適切な量の甲状腺ホルモンを作っています。甲状腺ホルモンが甲状腺ホルモン受容体に結合すると、下垂体は「甲状腺ホルモンがたくさんある」と感知して、甲状腺刺激ホルモンを減らします。一方で、甲状腺ホルモンが甲状腺ホルモン受容体に結合していない時は、「甲状腺ホルモンが足りない」と感じて、甲状腺刺激ホルモンを増やして甲状腺ホルモンの流通量を増やします。

甲状腺ホルモン不応症の特徴的な検査データ

甲状腺ホルモン不応症は、甲状腺ホルモン受容体の形が健常の人と異なるため、甲状腺ホルモン(右表: FT3、FT4)が甲状腺ホルモン受容体に正しく結合することができません。そのため、血液の中に甲状腺ホルモンがあるにも関わらず、下垂体は「甲状腺ホルモンが足りない」と錯覚し、甲状腺刺激ホルモン(右表: TSH)を増やします。結果、甲状腺ホルモンが高いにも関わらず、甲状腺刺激ホルモンも高いという、TSH不適切分泌と呼ばれる特徴的な血液検査データを示します。

	甲状腺機能亢進症	甲状腺機能低下症	TSH 不適切分泌
TSH 基準値: 0.2 ~ 4.5 (μ IU/mL)	低い	高い	少し高い
FT3 基準値: 2.2 ~ 4.3 (pg/mL)	高い	低い	少し高い
FT4 基準値: 0.8 ~ 1.6 (ng/dL)	高い	低い	少し高い

診断と治療

この特徴的な検査データが、甲状腺ホルモン不応症を疑うきっかけになったり、診断に応用されたりします。

甲状腺ホルモン不応症の患者様は、自覚症状がないことがほとんどです。なぜなら、働きの弱い甲状腺ホルモン受容体が、甲状腺ホルモンが十分にあると感知するまで甲状腺ホルモンの量は増やされるからです。

甲状腺ホルモン不応症に対する根本的な治療はありません。無治療・経過観察で様子を見ます。

一部で動悸を自覚される患者様がいます。心臓では、甲状腺ホルモン受容体の働きが弱まりにくいからです。動悸の症状が強い方では、対症療法として、動悸を抑えるお薬を使うことがあります。

甲状腺ホルモン不応症と遺伝

甲状腺ホルモン不応症は、3番目の常染色体にある、甲状腺ホルモン受容体の遺伝子の異常が原因で起こります。甲状腺ホルモン不応症の患者様で甲状腺ホルモン受容体の遺伝子を検査すると、60%の確率で変異が見つかるといわれています。甲状腺ホルモン不応症は、遺伝をする疾患で、体質は次世代へ受け継がれます。メンデルの法則に従う、常染色体優性遺伝形式で受け継がれるので、自分が甲状腺ホルモン不応症であった場合、子供が甲状腺ホルモン不応症を発症する確率は50%です。



マイコプラズマ肺炎とは

マイコプラズマ肺炎は、マイコプラズマという細菌による感染症のひとつです。マイコプラズマは生物学的には細菌に分類され、空気中や水中などいたるところに存在しています。日常生活でかかる肺炎の原因として10～40%を占めるとも言われています。

症状・検査

マイコプラズマ肺炎にかかる方は、0～19歳が全体の8割近くを占めると報告されています。数日持続する乾いた咳が特徴的ですが、かぜと区別するのは症状のみでは難しいです。

マイコプラズマ肺炎が疑われる場合には胸部レントゲン撮影が行われ、肺炎像がないか確認します。血液検査では炎症反応(白血球数、CRP)や肝酵素(AST、ALT)の上昇がみられることがありますが、いずれもマイコプラズマ肺炎だけに見られるものではありません。診断確定のためには①培養による菌の同定②遺伝子の増幅などがありますがいずれも時間がかかります。また、③血液中の抗体価の上昇を確認することもあります。抗体価の上昇も時間がかかるため1回の血液検査で判定できるとは限りません。そのため咽頭のぬぐい液を用いた迅速検査が使用されることがあります。これは数十分程度で結果が出るという利点がありますが、検査が陰性でも必ずしも感染していないということではないので注意が必要です。お近くでマイコプラズマ肺炎が流行っている場合は、医師に伝えて診察してもらいましょう。

治療・予防

治療は抗菌薬の内服を行います。マクロライド系やテトラサイクリン系、ニューキノロン系といわれる薬剤が用いられますが、近年第一選択であるマクロライド系の抗菌薬に耐性を持つマイコプラズマが問題になっています。マイコプラズマの感染に対する特異的な予防方法はなく、流行期には手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、感染している方との濃厚な接触を避けることが重要です。

ご存じですか?

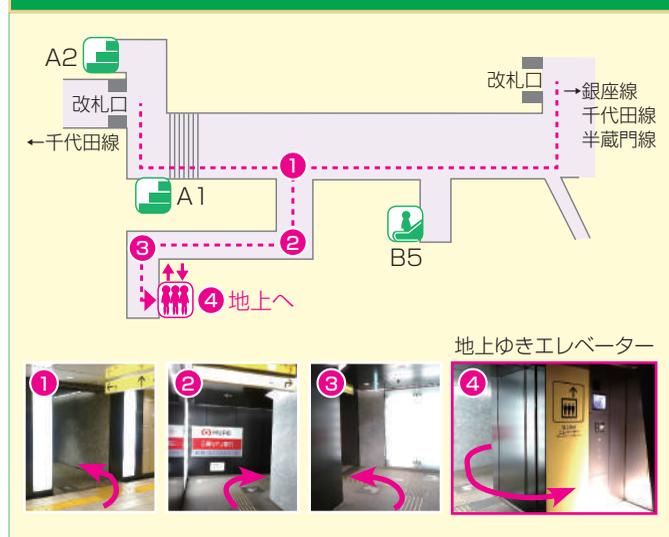
『表参道駅エレベーター』のご案内

東京メトロ・表参道駅A1出口付近に、エレベーターがございます。エレベーターを上がりますと、表参道を挟んで当院の反対側に出ることができます。

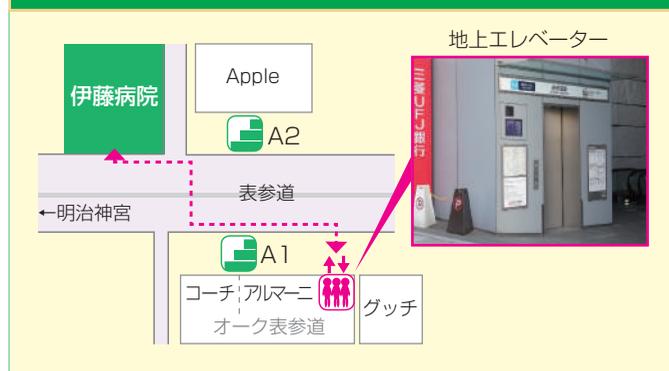
車イスでお越しの方、また足もとに不安のある方やお荷物がある方は、こちらのエレベーターをご利用いただけますと安心です。

場所がわかりづらいかもしれませんので、下記にご案内いたします。

表参道駅(B1F) 当院周辺構内図



伊藤病院周辺地図



表参道寄り道スポット

CHAVATY

伊 藤病院から5分程歩くとコンクリート造りのシックなカフェが見えてきます。「CHAVATY」は2018年7月のオープン以来連日行列ができるほど人気の高いティーラテ専門店。洗練されたデザインのゆったりとした雰囲気の内店で、素材本来の良さや製法にこだわった「本物志向」のティーラテをお楽しみいただけます。



看板メニューとなるウパティーラテは、世界の紅茶の中でも最もミルクと相性のいい茶葉の一つとして選ばれた、世界三大銘茶であるスリランカ産高級ウパの旬のものを使用しています。実際にスリランカ高地にある茶園



を訪れテイastingを繰り返しながら、ウパの中でも理想のティーラテに合う良質な茶葉を厳選。お茶本来の香りを最大限に引き出し、まるやかさと自然の甘みを楽しめるティーラテとして上品に仕上げました。また、紅茶だけでなく日本が誇る宇治抹茶やほうじ茶のティーラテも用意されています。抹茶ティーラテは丹念に挽かれた茶葉の滑らかな旨味とコクを風味豊かに、ほうじ茶ティーラテは香ばしさと上質なコクや渋みを和三盆糖で優しい甘さにまとめました。一杯一杯丁寧に淹れて提供されるドリンクは絶品です。

ティーラテのお供には、店内で焼き上げるシンプルな味わいのスコーンがおすすめ。他にも3種類の茶葉を使用した、ティーゼリーやテイクアウト専用のソフトクリーム、お土産にぴったりのテリーヌなどのスイーツも。もちろん、ティーラテもテイクアウト可能です。香り高い茶葉を使用し、シンプルにこだわり抜いたティーラテをお楽しみください。

厳選された高級茶葉を使用したティーラテとスコーンでほっと一息、贅沢な時間を過ごしてみたいかたがでしょうか。



●ドリンク

ティーラテ(HOT/ICE) 580円(税別)ウパが一番人気。アイスは可愛いポトルで提供。カップ2杯分くらいの容量があって、少しずつ飲みながらおしゃべりしたり、のんびりと過ごしたりするのにぴったり。ホットはミルクフォームの上に蜂蜜がかかっており、香り高い茶葉にほんのり甘いミルクフォームが絶妙なバランス。



●フード

紅茶とスコーンのセット 850円(税別)
スコーン2個(塩ホイップバター、ハニーナッツフルーツ)+各種ティー。甘さ控えめでバター香るスコーンに塩ホイップバターやハニーナッツフルーツの相性抜群。

●ソフトクリーム

ティーソフトクリーム 480円(税別)
ウパ、ほうじ茶が人気。一年中販売。茶葉をたっぷり使用し香り豊か、後味はさっぱり食べやすい仕上がり。

お店の方から一言
こだわりの牛乳をふわふわの泡に仕上げ、蜂蜜をふんだんにかけたティーラテ。肌寒い日に優しげに漂う香りに糧やかに包み込まれ、ほっこりとした温かな時間をお楽しみください。



店名	CHAVATY(チャパティ)		
住所	渋谷区神宮前4-6-9 南原宿ビル1F		
電話番号	03-3401-2378		
食べログ	https://tabelog.com/tokyo/A1306/A130602/13224245/		
営業時間	10:00 ~ 20:00 (LO 19:30)		
定休日	なし		
アクセス	表参道駅A2出口より徒歩5分	携帯充電	不可
Wi-Fi	なし	席数	26席
喫煙	不可	 Instagram	

表参道ランチ&グルメ情報

ナブレ南青山本店

 表参道駅B1出口から徒歩1分、青山通りにあるスパイラルホール手前の路地を入るとナブレ南青山本店が見えてきます。お店に着き一番初めに目に入ってくるのは、本場ナポリでも有数のピッツァ窯職人が手掛けた大きな石窯でピッツァを焼く職人の姿。南イタリアの港町の小さなトラットリアをイメージしたという店内は、日が差し込み開放的で心地よい空間です。



おすすめは何といてもナポリ・ピッツァ大会で入賞した職人が焼く本場のピッツァ。イタリア人が故郷を思い出して絶賛するというピッツァは定番のマルゲリータをはじめ、20種類以上のメニュー展開。4種類のチーズのピッツァはお好みでハチミツをかけるとまた違った美味しさが口の中に広がり2度楽しむことができます。ピッツァだけでなく、食べ応えがありもちもちとした食感が特徴のリングイネや、魚介の旨味がたっぷりのパスタもおすすめです。テーブルに並べられた色鮮やかな料理は見るだけで食欲をそそります。



平日ランチセットは3つのコースから選べ、本場のナポリ・ピッツァをはじめ南イタリアの郷土料理をベースにした前菜や料理の数々を、単品メニューのボリュームはそのままでお得に楽しむことができます。本格的に寒くなるこれからの季節に、イタリア料理で温まってみたいいかがでしょうか。



ランチのおすすめ



ランチA: サラダ、パスタ、コーヒー 1,200円(税込) 真蛸とトマトをたっぷり使ったラゲーのスパゲッティ。他に1日12食限定の日替わりのラゲニアもオススメです!



ランチB: サラダ、ピッツァ、コーヒー 1,400円(税込) ピッツァマルゲリータ、ナポリっ子の定番、薪窯で焼いたピッツァは格別です!

ディナーのおすすめ



お任せ前菜を小皿で
5皿: 1,800円(税込)からノ御一人様
ナブレの一押しメニュー、季節の食材をふんだんに使った小皿料理。南イタリアの白ワインと一緒にいかがでしょうか?

お店の方から一言

今年で20周年を迎えるナブレ南青山本店。ご家族連れで賑やかなディナーもよし、また大切な方との記念日にも是非ご利用くださいませ。2F、3Fとフロアが分かれておりますので、ワンフロアのみのお貸し切りパーティーなどにもお使いいただけます。また本場ナポリの職人が作った薪窯で焼いたピッツァもナブレならではの醍醐味です。



店名 ナブレ南青山本店
住所 港区南青山5-6-24
電話番号 03-3797-3790
営業時間 [月~金] 11:30 ~ 14:00L.O. 18:00 ~ 22:00L.O.
[土・日・祝] 11:30 ~ 14:30L.O. 17:30 ~ 22:00L.O.
定休日 なし
アクセス 表参道駅B1出口より徒歩1分
Wi-Fi あり
携帯充電 可
HP <https://napule-pizza.com/>
喫煙 分煙(店内での喫煙は不可。エントランスに喫煙スペースあり。)



このコーナーでは、当院の診療連携施設であるやました甲状腺病院の情報をご紹介してまいります。

医療法人福甲会 やました甲状腺病院 理事長・院長 山下弘幸

やました甲状腺病院の山下です。

前は“ここがヘンだよ日本の医療”を題材の一つとして、無給医の問題についてでした。それには医局制度がかかわっており、終身雇用制の企業慣習と同じメンタリティ（農耕民族）から生まれたものではないかと述べました。後者がグローバリズムによりしだいに修正されているのと同様に医局制度も少しずつ変わってきていますので、今回はそれらを含めて私見を述べさせていただきます。

従来、医学部卒業と同時に大学医局に研修医として所属し、ある一定の研修後に系列の基幹病院に派遣されて臨床実績を積んでいました。医局の頂点である教授が人事権を把握し、症例の少ない病院にも半強制的に派遣させることにより地域医療を支えていたことにもなっていました。しかし、厚労省より医療改革の一環として2004年度から初期臨床研修義務化が実施され、市中の総合病院でも研修医の初期研修ができるようになりました。大学医局は兵隊医師が減り、地方の病院に派遣していた医師を引き上げざるを得なくなりました。その結果、地方の基幹病院では医師が足りなくなり、診療科の閉鎖などで医療崩壊がすすんでしまったのは周知のことです。

このように、初期臨床研修義務化が医療崩壊を早める一因になったかも知れませんが、もとの医局制度に戻すことも困難です。また、この新制度がなくても最終的には地方の基幹病院が淘汰され、集約化がすすんできたと考えます。少子高齢化や生産性の低さにより十分な社会保障費をつぎ込めないことが根底にあるからです。

さて、以降は専門領域に特化した外科医としての個人的な意見となります。日本外科学会では外科入局者の減少を食い止める対策をすすめています。少数でもよいので精鋭を育て、高齢になっても外科手術を担ってもらおう制度が大事ではないかと考えています。私は昭和57年に九州大学第一外科に入局し

ましたが、同期のほとんどの先生方は早い時期より外科を離れています。外科医として大変な修行を積んだのに個人だけでなく外科医界にとって非常にもったいないことです。医学部卒業後の診療科を選ぶ際に先輩から外科はつぶしがきく（消化器外科は消化器内科としての仕事ができるという意味）から有利と説得されたことを思い出します。外科修練医には十分な手術を経験させ、専門医となり一本立ちできるようになれば、外科医の仕事に特化すべきと考えます。1991年に米国ピッツバーグの肝移植施設を訪問しましたが、移植外科医は手術のみで術後の管理は別の医師が担っていました。心臓外科や脳神経外科領域では海外に行かないと十分な症例を経験できないようですが、日本でも手術に特化した制度にして専門医の数を制限すべきではないかと思えます。

現在、地方のインフラ（道路・ガス・電気・水道など）が維持できなくなっており、コンパクトシティを目指す方向にすすんでいます。医療も同じ境遇にあると考えています。但し、甲状腺分野においては3大病院（東から伊藤病院、隈病院、野口病院）をはじめとする専門病院に手術が集約されています。甲状腺手術に関して救急を要することが少ないこと、術後の受診が頻繁でないことや交通網の発展により以前に比べて移動が楽になっていることが集約化がすすんでいる要因と考えます。脳や心臓などの救急疾患に比較すると、甲状腺手術においては都会と地方での医療格差が小さいのではないかと感じています。



医療法人福甲会
やました甲状腺病院
〒812-0034
福岡県福岡市博多区下呉服町1-8
<https://www.kojosen.com/>
TEL : 092-281-1300 FAX : 092-281-1301

中日健康フェア2019で講演しました

名古屋甲状腺診療所 事務長 高田博史

当院では、一般の方々に甲状腺の病気について知っていただく機会として、毎年中日健康フェアにて講演会を開催しております。

中日健康フェアは、東海エリアの医療・健康に関する総合展で、『学校の授業』をコンセプトに一般市民の方を対象に毎年開催されています。名古屋駅前にある名古屋医専総合校舎 スパイラルタワーズ内ホールが会場で、交通の便がよいこともあり、例年東海3県から1万人以上が参加される大変人気のある体験型講演会です。今年も9月15日(日)、16日(月・祝)にわたって開催されました。

当院の今回の講演は、「健康づくりに活かそう！甲状腺のはたらきと病気のはなし」として、藤田医科大学医学部 一般外科学内分泌外科 日比八束教授、名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 吉村崇教授とともに、大江秀美副院長が1時間半にわたって講演しました。講演では、日比教授、大江副院長から甲状腺の病気についてどのような経過で発症するか、検査や診断の流れなどを中心に、特徴的な症状が少ないために他の病気に間違われやすいこと、甲状腺がんの多くを占める乳頭がんなどをご紹介しました。また、吉村教授からは人間だけでなく鳥や魚にも甲状腺があり、そのはたらきは様々ですがどの生物にとっても重要な役割をはたしていることについてご紹介されました。

昨年同様、抽選で外れてしまう方もいらっしゃるほど多数の参加申し込みをいただき、定員220名の会場が満席になるほどの方々がお集まりになりました。講演中も、参加された皆さんは早期診断の大切さなどに頷かれながら、熱心に聴講されていました。

今後も、このような機会をとらえ、甲状腺を病む方々にご病気についての理解を深めていただくとともに、より多くの方々に甲状腺の病気について知っていただけるよう、情報発信してまいりますので、よろしく願いいたします。



名古屋甲状腺診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59
電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308
HP：https://www.kojin-kai.jp/nagoya/



開設2周年を迎えました

さっぽろ甲状腺診療所 事務長 澤井敏樹

2017年11月に開院以来、本年10月で「さっぽろ甲状腺診療所」は2周年を迎えました。

おかげさまで、のべ15,000名の患者様に受診していただきました。北は稚内市、東は羅臼町(知床半島)、利尻・礼文などの離島からと札幌市内はもとより、北海道各地からお越しいただいております。ご紹介くださる医療機関も350施設を超え、2,100名もの患者様をご紹介いただきました。実にその数は初診患者様の約35%にも上ります。甲状腺疾患専門施設として認知していただけたこと、大変うれしく思っております。また当院を受診し、何らかの甲状腺疾患により手術に至った患者様も200名におよび、甲状腺外科疾患領域におきましても、地域医療機関としっかり連携し、フォローさせていただいております。

そして、2年間に計3回の市民公開講座を開催し、北海道の甲状腺疾患に苦しむ患者様への情報提供、最先端の診断・治療を地道に行ってまいりました。学術の分野においても岩久院長が地域で開催される学会での発表、研修会等で講師を務めるなど、積極的に参画しております。

通院される患者様からも好評価をいただいております。引き続き愛される医療機関として今一度初心に立ち返り、職員一同、サービスの向上に努めてまいります。

3年目となります「さっぽろ甲状腺診療所」をどうぞよろしく願いいたします。



さっぽろ甲状腺診療所

住所：北海道札幌市中央区大通西15丁目1-10
ITOメディカルビル札幌5F
電話：011-688-6440 FAX：011-688-6439
HP：https://www.kojin-kai.jp/sapporo/



～ 臨床栄養室 ～

伊藤病院 臨床栄養室 松丸祐美

臨床栄養室は管理栄養士という国家資格を持った栄養の専門家が在籍しており、患者様のお食事と栄養に関する業務を行っています。仕事内容はおもにお食事の提供、栄養相談・栄養指導、栄養サポートチーム(Nutrition Support Team : NST)です。

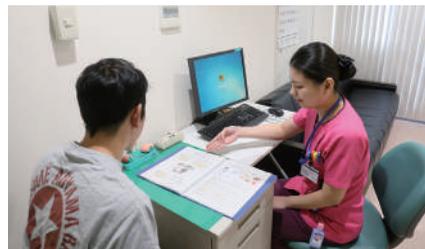
入院されている患者様に安心して治療に取り組んでもらえるように、また入院中のお食事を楽しみにしてもらえるように、給食委託会社ハガクレフード株式会社と一緒に食事提供をしています。給食には食品・調理に関する法律があり、そちらに沿って衛生的に仕入れから調理・盛りつけなどを行っています。盛りつけ前に味見を、さらに料理を盛りつけ終えた後、きちんと献立通り作られているか、安全な食事が目視と温度計など機器を使用して2人体制でチェックします。また、毎食必ず医師と栄養士が検食を行い、献立や味つけが適切か確認しています。



衛生的で安全だけでなく患者様の嗜好に合わせた美味しい食事をご提供できるよう、年に4回嗜好調査を実施し、結果をもとに献立の変更を行っています。月に1度季節の献立提供にも力を入れており、世界の料理やお弁当箱でのメニュー(特に創立記念日)は大変好評でした。

栄養相談・栄養指導は3F栄養相談室で行っています。外来の患者様や入院の患者様の糖尿病・脂質異常症・肥満症などの生活習慣病の食事指導のほか、がん患者様のなかでも嚥下困難・低栄養が見られる方への栄養指導を当院独自で作成したリーフレットや資料を使用して行っています。また、気管切開手術後や手術後脂肪を制限しなければいけない患者様の為に退院前食事相談や栄養補助食品の紹介など、不安なく退院で

きるよう食事面のサポートも行っております。電話でのヨウ素制限食・脂肪制限食に関する相談も受けております。



入院患者の栄養状態の改善、早期退院等のサポートを目的とした医療チーム、NSTの一員として活動しています。メンバーは、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師で構成されています。低栄養のリスクがある患者様を中心に、個別での栄養管理を実施しています。食事の量の調整や、栄養量の変更、栄養補助食品の付加、食事の軟らかさの変更をして、安全で食べやすく、必要な栄養が摂れる食事を用意しています。

そのほか、ご自宅でヨウ素制限をする患者様が使用してよい「調味料のリスト」や1F売店に置いている「お菓子、飲み物リスト」を作成しているのも臨床栄養室です。3ヶ月に1度更新しております。また、当院監修の「安全！便利！おいしい！甲状腺専門・伊藤病院がおくるヨウ素制限食レシピ」も1F売店にて販売しています。ヨウ素制限中の献立についてお困りの方は、あわせてぜひご覧ください。

栄養のことでわからないことや不安に思っていることがございましたらぜひ臨床栄養室へご相談ください。



迷蝶：カバマダラチョウ (Plain Tiger)

「迷蝶」あるいは「偶産蝶」とは、本来の棲息地からかけ離れた場所で見つかった蝶の総称です。数年前の9月は、連日気温が30度を超える日が続いていました。その暑さに辟易していたところ、「静岡県内でカバマダラ異常発生」という記事を新聞で読みました。カバマダラという蝶は沖縄・奄美大島以南に分布する南国の蝶です。それが静岡県内の某所で異常発生したというのですから、虫屋のはしくれの私には興味津々でした。早速、友人とともに現地に着いてみると、オレンジ色の美しい翅を持つカバマダラが、あっちでもこっちでもフワフワ飛んで、背丈ほどもあるフウセントウワタの花で吸蜜したりしている光景を目にしました。今回の静岡県でのカバマダラの異常発生は、台風によって運ばれ、たまたまその地に栽培されていたフウセントウワタ(アフリカ原産で観賞用)で繁殖したのでしょう。つまり、この異常発生は自然界の偶然が重なった結果なのです。迷蝶として発見された美しいカバマダラたちは、静岡の地では冬を越すことが出来ずに全て死滅してしまうでしょう。それが迷蝶の運命だと思うと、少しセンチメンタルになってしまいます。



統計情報

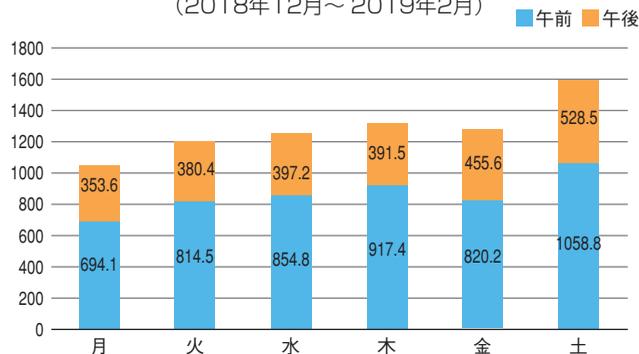
曜日・午前午後別の外来受診者数について

当院は予約制をとっておりませんので、患者様のご都合のよい日時にご来院いただける一方で、混雑時には待ち時間がさらに増えてしまう状況にもあります。これまで診察室増設、各種検査技師の増員、ITの拡充による業務効率化などの対策を進めてまいりましたが、十分とは言えない状況です。そのため、患者様より空いている曜日や時間帯についてご質問をいただくこともございますので、今回、曜日別および午前・午後別の外来受診者数について、昨年の同時期の統計をご紹介します。

統計では、週の前半が比較的混雑が少なく、どの曜日でも午前の方が混み合う状況にありました。また、グラフでは見られませんが祝日の前後や、祝日の曜日と同じ曜日は前後の週も混雑することが多くなっております。

外来では、特に医師の指定が無い方は、待ち時間が長くなるように、各診察室の待ち人数を考慮して診察室を決定しております。患者様のご都合や医師の外来担当日などの兼ね合いもごさいますが、ご来院の日時を決める参考になりましたら幸いです。

曜日・午前午後別の平均外来患者数
(2018年12月～2019年2月)



また、決まった医師の診察を継続されている方や、医師のご希望のある方はそちらを優先して診察室を決定しております。女性・男性医師や個別の医師など、指定、変更のご希望がございましたら、2F外来中央にお知らせください。(病気の性質や治療内容によりご希望に添えない場合もございます。)

今後も待ち時間軽減への取り組みを継続してまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

「原宿表参道元氣祭り・スーパーよさこい」のボランティアに行ってきました

伊藤病院 看護部 岡田依里、湯浅宏美

昨年から参加させていただいている「原宿表参道元氣祭り・スーパーよさこい」の救護所ボランティアに、今年も8月24日、25日の2日間行ってきました。

よさこいは高知発祥の踊りです。高知市内ではお盆の時期4日間にわたってお祭りが行われ、約200チームの演舞が披露されます。「スーパーよさこい」は原宿商店街の活性化を目的として2001年から始まり今年で19回目を迎えました。今年は国内外から過去最多の110チームの参加があり、高知からも強豪チームが参加するなか、渋谷区を拠点とする「しん」が優勝しました。

昨年は猛暑のため2日間で200名以上の方が熱中症で救護所を利用されましたが、今年はそこまで暑くなかったこと、去年の反省から救護スタッフを増員したり本部も暑さ対策をした

りしていたことが幸いし、若干名の熱中症患者が出たのみでした。去年はめまぐるしい忙しさでよさこいを観ることができませんでしたが、今年は素晴らしい踊りを堪能することができました。

来年は東京オリンピックと時期が重なるため、秋に行われる予定となっているそうです。Voiceをお読みになっている皆さんも、よさこいに足を運んでみてはいかがでしょうか。



高校生インターンシップを受け入れました

8月16日に洗足学園中学高等学校、8月19～20日に武蔵野大学高等学校、8月27日に都立新宿高等学校より各2名ずつ、合計6名の生徒のインターンシップを受け入れました。それぞれのご希望に合わせ、看護部病棟、臨床検査室、放射線検査室、薬剤室のいずれかでの受け入れとなりました。



看護部では、病棟のベッドメイキングや、手浴、血圧測定などに挑戦。病棟、外来それぞれの看護師業務を見学して、業務イメージを膨らませていただきました。



臨床検査室では各検査の見学・説明や実習をしました。写真は、血液や尿などの検査を行う検体検査室。超音波検査や呼吸機能検査などの疑似体験もしていただきました。



薬剤室では散剤の分包、軟膏詰めを体験。抗がん剤調製の際に薬が完全に漏れないようにする必要性・方法をご説明し、実際に練習用の器具を使って調製していただきました。



放射線検査室では、果肉の入ったゼリーを使って、超音波や放射線でゼリーの中身がどのように見えるか実験。機器をどう操作すれば中身がよりはっきりと見えるかについて一緒に考察しました。

インターンシップ中には、業務内容はもちろん、希望の職種に就くための進学や国家試験についてお話しさせていただく場面も。生徒のみなさんも積極的に質問をしてくださり、充実したインターンシップになったのではないかと思います。医療職への興味と理解をさらに深めていただければ幸いです。

学会活動

第1回 沖縄県甲状腺研究会(8/20)

杉野公則 特別講演「甲状腺分化がんに対するレンパチニブ治療の問題点と知見-伊藤病院での経験例から」

第23回 茨城県地域医療学会(8/25)

鈴木章史 特別講演「『きっと役立つ甲状腺診療あれこれ』その7 2019夏」

第20回 日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会(9/13~14・東京)

渡邊奈津子 「妊娠時のバセドウ病の治療」

第19回 日本内分泌学会四国支部学術集会(9/14・高知)

吉原 愛 「妊娠と甲状腺疾患」

第441回 国際治療談話会 例会(東京・9/19)

伊藤公一 (司会)[認知症における先進的研究の進歩 - 診断と治療の現状 -]北島政樹先生を偲ぶ会

第53回 日本小児内分泌学会学術集会(9/26~28・京都)

杉野公則 「小児および若年者における外科治療を要する甲状腺疾患 - 甲状腺癌を中心に -」

第61回 全日本病院学会 in 愛知(9/28~29)

三島貴子 「メルカゾール®(MMI)開始時の抗アレルギー薬併用により副作用の皮膚障害による投与中止を低減するか？」

第43回 日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会(10/5~6・福島)

北川 亘 「超音波ガイド下穿刺吸引細胞診の実施方法」

蛭間真梨乃 「嚢胞形成乳頭癌における充実病変の好発部位について」

北川 亘 座長「一般演題5 甲状腺2」

國井 葉 座長「日常よく遭遇する疾患シリーズ 甲状腺嚢胞性病変」

北川 亘 講師「甲状腺ハンズオンセミナー」

國井 葉 講師「甲状腺ハンズオンセミナー」

吉村 弘 ランチョンセミナー 「抗サイログロブリン自己抗体の影響を受けない血中サイログロブリン測定系の開発」



The 11th Asia Pacific IAP Congress(10/11~14・中国)

加藤良平 特別講演「Chromophobe Renal Cell Carcinoma-like Thyroid Carcinoma - Challenging Cases in Surgical Pathology in Japan - IAP special」

加藤良平 座長「Symposium Japan-IAP」

第62回 甲状腺副甲状腺術中神経モニタリング研究会(10/18・東京)

友田智哲 「バセドウ病手術におけるIONMの有用性について」

北川 亘 座長「スポンサードセミナー~2018年に保険適応となったバセドウ甲状腺手術、内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術における神経モニタリングの有用性について~」

日本超音波医学会 第31回関東甲信越地方学術集会(10/19~20・東京)

國井 葉 特別企画「甲状腺・頭頸部疾患のイメージリーディング」

北川 亘 座長「一般演題(甲状腺・体表)」

第73回 日本臨床眼科学会(10/24~27・京都)

渡邊奈津子 「甲状腺専門医から診る甲状腺眼症」

講演活動

甲状腺癌治療セミナー(8/3・札幌)

正木千恵 特別講演「レンパチニブを使用する前の対策、チーム医療」

FUJIREBIO Forum(8/10・横浜)

吉原 愛 「甲状腺検査データの読み方」

FUJIREBIO Forum(9/1・名古屋)

渡邊奈津子 「甲状腺検査データの読み方」

FUJIREBIO Forum(9/21・札幌)

國井 葉 「甲状腺検査データの読み方」

主な学会の予定

下記学会期間中、多くの医師の外来が変更となり、患者様にはご不便をおかけいたしますが、なにとぞご容赦いただきますようお願い申し上げます。

2020年

2019年12月現在

5月21日(木)~22日(金) 日本内分泌外科学会総会

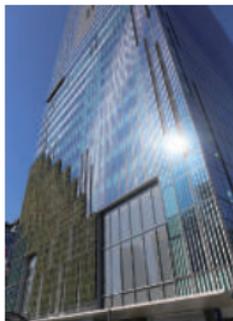
6月 4日(木)~ 6日(土) 日本内分泌学会学術総会

11月19日(木)~21日(土) 日本甲状腺学会学術集会

11月26日(木)~27日(金) 日本内分泌外科学会学術大会

スクランブル交差点

渋谷といえば、ニュース番組の中継などでおなじみのスクランブル交差点。人々がぶつかることなく行き交う様子は、日本の都市風景の象徴のようであり、秩序を好む日本人の気質のあらわれのようでもあります。近年では、外国人観光客のフォトスポットとしても人気です。



先日、その名を冠した複合施設・渋谷スクランブルスクエアの東棟が開業しました。渋谷エリアではもっとも高い約230メートルを誇り、ルーフトップには都心を360度見渡せる展望施設「SHIBUYA SKY」が、めまぐるしく再開発が進む街並みに驚くばかりですが、海外からのお客様が増えるのはうれしい変化ですね。スクランブル交差点に次ぐ、新たな渋谷のシンボルに期待が膨らみます。(白田)

編集後記

煌びやかなイルミネーションが街を彩る季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。Voice冬号はお楽しみいただけましたか？

今年は空前のタピオカブームでしたね。私も色々なタピオカ屋巡りをし、飲み比べをするのを楽しんでいます。病院の周りには多くのタピオカ専門店があります。HOTのタピオカはお餅のような食感でとても美味しいですよ！これからの寒くなる時期にいかがでしょうか。

また来年も伊藤病院、Voiceをよろしく願っています。よいお年を！(浅見)

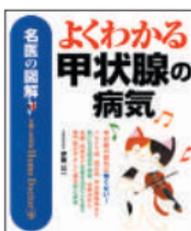
甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。



新版「甲状腺の病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,430円(税込)
発行：講談社



「名医の図解 よくわかる甲状腺の病気」

著者：伊藤公一
定価：1,430円(税込)
発行：主婦と生活社



「ウルトラ図解 甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,650円(税込)
発行：法研



「よくわかる 最新医学 甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,540円(税込)
発行：主婦の友社



「患者のための最新医学 バセドウ病・橋本病・その他の甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,320円(税込)
発行：高橋書店



「図解 甲状腺の病気がよくわかる 最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博
定価：1,540円(税込)
発行：日東書院



安全！便利！おいしい！ 甲状腺専門・伊藤病院がおくる ヨウ素制限食レシピ

監修：伊藤公一
編集：北川巨
定価：1,760円(税込)
発行：全日本病院出版会

発行 2019年12月1日発行 第68号 伊藤病院広報誌委員会

ITO
HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6
TEL : 03-3402-7411
FAX : 03-3402-7415
URL : <https://www.ito-hospital.jp>